

そごう しんじ 十河 信二 (1884~1981)



国鉄総裁。新居郡中村(現、新居浜市)出身。愛媛県西条中学校(現、県立西条高等学校)、第一高等学校(現、東京大学)を経て、明治42(1909)年、東京帝国大学法科大学(現、東京大学)を卒業した。大学卒業後は後藤新平の勧めで鉄道院に入り、鉄道院参事、鉄道事業研究のためのアメリカ留学の後、経理局会計課長を経て帝都復興院書記官に出向、鉄道省経理局長を最後に大正15(1926)年、退官した。退官後は南満州鉄道株式会社の理事を務めるなど満州(現、中国東北部)で過ごし、また、懇請されて西条市長を務めた。

昭和30(1955)年、同郷の友人らに要請されて第4代国鉄総裁に就任し、2期8年在任した。その間に国鉄の体質改善を図り、東海道線の輸送力の行き詰まり打開策として世界に誇る新幹線構想を打ち出した。様々な困難を解決しながら開通に導いたが、新幹線建設予算の大幅な超過などの責任により3期目の総裁に就任せず退任した。

略歴

明治17(1884)年4月14日	新居郡中村上原に生まれる。
明治42(1909)年7月11日	東京帝国大学法科大学を卒業
大正元(1912)年12月25日	鉄道院参事に就任
大正6(1917)年2月	鉄道事業研究のためアメリカに留学(〜同7年8月)
大正12(1923)年9月29日	帝都復興書記官に出向
大正15(1926)年1月29日	鉄道省経理局長を最後に退官
昭和5(1930)年7月11日	南満州鉄道理事に就任
昭和10(1935)年12月20日	興中会社の社長に就任
昭和13(1938)年11月6日	興中会社の社長を辞して帰国 育英施設西条学舎を建設
昭和20(1945)年7月3日	西条市長に就任
昭和30(1955)年5月20日	日本国有鉄道総裁に就任
昭和38(1963)年5月19日	日本国有鉄道総裁を退任
11月3日	愛媛県県民賞を受賞
昭和39(1964)年11月3日	勲一等瑞宝章を受章
昭和44(1969)年9月29日	西条市名誉市民となる。
昭和56(1981)年10月3日	97歳で永眠

(写真提供：西条市こどもの国)

〈関連図書〉

- ・愛媛子どものための伝記刊行会『愛媛子どものための伝記 第1巻 十河信二・二宮忠八・山下亀三郎』
愛媛県教育会 1983年
- ・愛媛県百科大事典編集委員会『愛媛県百科大事典』愛媛新聞社 1985年
- ・『えひめ 人 その風土』愛媛放送株式会社 1986年
- ・有賀宗吉『十河信二』十河信二傳刊行会 1988年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』愛媛県 1989年
- ・高橋団吉『新幹線をつくった男 島秀雄物語』小学館 2000年
- ・『発掘えひめ人ー近代を拓いた101人ー』愛媛新聞社 2002年
- ・十河光平監修『夢の超特急ひかり号が走った 十河信二伝』西日本出版社 2013年

〈主な収蔵資料〉…(P211, 74)

〈ゆかりのある場所〉…(P290~291, 107~109)

〈関連施設〉…十河信二記念館

〒793-0030 愛媛県西条市大町798番地 1 TEL: 0897-47-3855